

宮城県（平成25年度）

この記念貨幣は、「慶長遣欧使節派遣400周年」をテーマに、発行されるものです。記念貨幣の表面は、宮城県を代表する人物である伊達政宗と慶長遣欧使節船をデザインしています。

※伊達政宗（西暦1567年～1636年）

出羽国と陸奥国の戦国大名。陸奥仙台藩の初代藩主。騎馬像は伊達政宗が天然の要害の地に築いた仙台城（青葉城）の本丸跡に立つ。

※慶長遣欧使節

慶長遣欧使節は、慶長18年（1613年）に仙台藩祖伊達政宗が、仙台領内でのキリスト教布教容認と引換えにノビスパニア（メキシコ）との直接貿易を求めて、イスパニア（スペイン）国王及びローマ教皇のもとに派遣した使節。使節に選ばれた家臣支倉常長が、宣教師ルイス・ソテロとともに、仙台藩内で建造した洋式帆船「サン・ファン・バウティスタ号」で太平洋を渡った。イスパニア国王フェリペ3世や、ローマ教皇パウロ5世に拝謁し、7年後の元和6年（1620年）に帰国した。

広島県（平成25年度）

この記念貨幣は、「広島の魅力を発信する観光資源」をテーマに、発行されるものです。記念貨幣の表面は、広島県を代表する神社である世界遺産・厳島神社と舞楽とともにもみじをデザインしています。

※厳島神社

創建は、推古元年（593年）。現在の社殿は、12世紀に平清盛によって造営された。弥山を中心^{せん}に緑に覆われた山容の背景、海上に朱塗りの社殿群・大鳥居等が独特の景観を作り成し、平成8年（1996年）12月に世界文化遺産として登録された。

※舞楽

古くは、インド、中国、朝鮮半島を経て日本に伝えられた音楽（雅楽）と舞をさす。発祥の地インドはもとより、中国、朝鮮半島にも現在は残っていない。厳島神社の舞楽は、12世紀後期に平清盛により大阪の四天王寺から伝えられたと云われ、現在も、毎年10回余り奉奏されている。

※もみじ

広島県全域に分布し、日本三景といわれる宮島のほか、広島県内にある特別名勝三段峡、名勝帝釈峡など名所も数多いことから、昭和41年（1966年）9月1日に広島県の県の木に制定されている。

群馬県（平成25年度）

この記念貨幣は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」をテーマに、発行されるものです。記念貨幣の表面は、日本初の機械製糸工場である富岡製糸場・東繭倉庫と工女をデザインしています。

※富岡製糸場

明治5年（1872年）に、当時日本の最大の輸出品であった生糸の大量生産と品質向上を目的に、明治政府によって創設された。西洋の機械による製糸技術を取り入れ、その後国内各地に創られた製糸工場の模範となるとともに、蚕の品種改良にも取り組み、日本の

蚕糸業発展の中心的役割を果たした。昭和62年に操業を停止したが、東繭倉庫をはじめ、創業当初の主要な建物がほぼ当時のまま現存している。平成17年に国の史跡指定、平成18年に国の重要文化財に指定された。

※工女

富岡製糸場では、創業当時、全国から集められた400人以上もの工女が繰糸^{そうし}作業に従事し、ここで身につけた技術をそれぞれの出身地に持ち帰り、地域の製糸業発展に寄与したと言われている。